
ある せかい の はなし

通りすがりの人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある せかい の はなし

【Nコード】

N4359U

【作者名】

通りすがりの人

【あらすじ】

ぼくはひとり せかいのはじまりをうたっていた

せかいのはじめ

ランラン

ランラン

ランラン

ランラン

――音が聞こえる

ランラン

ランラン

ランラン

ランラン

――声が聞こえる

ランラン

ランラン

ランラン

ランラン

それはとても懐かしくて

ランラン

ランラン

ランラン

ランラン

とても悲しい音だった

聞かせる？

誰かの声が聞こえる

.....聞こえるなら返事をして――

――「君は一体誰？」

.....僕は君だよ――

――「君は僕なの？じゃあ僕は？」

.....君は僕だよ――

――「君は僕で僕は君？訳わからないよ.....」

.....それより君はいつまで

目をつむっているんだい？.....

「.....僕は目を閉じてるの？」

.....そうだよ。ほら、目を開けて御覧

きつと新しい何かが始まるよ？.....

「.....そして僕は目を開けた

「.....そこは何もない」「無」の世界だった

やみとひかり

――「無」の世界・・・

――とても殺風景で本当の「無」・・・

――それは――だった

――僕はこのさみしい世界に「色」をつける

―――僕は非力で本当に何もできないナニカだけど

―――「歌」を歌うことだけはできるんだ

―――「歌」はいろいろなものにあふれている

―――悲しみとか怒りとかさみしさとか楽しさとか面白さとか

―――僕はまずこの世界を「黒」に染める

―――「黒」を象徴するのは恐怖、絶望など「負」の感情

―――僕は歌う

――得体のしれないモノへの恐怖を

――そして世界は「黒」に包まれた

――僕はこの「黒」を「闇」と名付けた

――次に僕は「白」を創る

――「白」を象徴するのは明るさ、希望といった「正」の感情

――僕は歌う

――一筋の確かな希望を

――そして「闇」に「白」が生まれた

―――僕はこの「白」を「光」と名付けた

―――「闇」と「光」を創ったら何か眠たくなってきてしまった

―――願わくは次に目を開けるときは「闇」と「光」の調和がとれた世界を見たいと想う

「……………それではお休み、世界よ……………」

「……………そして僕は再び目を閉じた」

やみ と ひかり（後書き）

やあ、自分は通りすがりのものです。

決して怪しいヒトではありませんので。

自分で書いておいて何ですが東方キャラが出てくるのは何時になる
んでしょうかね？

それに序盤は何書いてるんだ的な事を思われるかもです。

そこは私の非才故に。

やみとひかりのちょうわ

「……僕はあれからどのぐらい眠ったのだろう……」

「……きつと目を開けたらそこには……」

「す……」

「……「光」と「闇」の調和の世界があった。」

「……きれいとか神秘的とかそんな言葉なんかじゃ表せない。」

「……きつと僕はこの光景をずっと言葉にできないのだろう。」

―――けど僕はこの光景を誰かに伝えたい・・・

―――だから僕は「歌」を歌う。

―――この光景を、この「世界」を一つの「歌」にするために・・・

―――「世界」は「闇」と「光」の調和、きらめき、神秘さ、せ
つなさ、悲しさ、希望。

―――僕はすべてを「歌」に閉じ込めた。

.....気分はよい？.....

「.....」とても、なにか、すごい.....」

.....きつとこの世界には素晴らしいものがたくさんあるよ.....」

「.....」まだたくさんあるの？」

.....ああ、だからたくさん素晴らしいものを探すと
いいよ.....」

「.....」ありがとう、僕」

――そして僕は今見える蒼くてきれいな「光」に向かった

やみとひかりのちょうわ(後書き)

いったいどうしてこうなった・・・

本当に東方関係あるの？

と思うぐらい東方の話が出てこない。

自分でもわからない。

たぶんそのうちでる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4359u/>

ある せかい の はなし

2011年10月7日16時00分発行